

### ★受賞おめでとうございます★

心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。  
☆令和6年度市政功労者表彰 保健衛生功労表彰 吉田 豊 先生

### ～会長便り～

新年度がスタート致します。4月は薬価改定が実施され、0.97%のダウンが行われます。そして6月には調剤報酬改定、+0.16%の改定率で実施されます。先日、県薬でも「研修協議会研修会」で詳細な説明がありました。そこでは次の様なお話がありました。「2025年のみならず2040年を視野に入れた地域共生社会の実現に向けて、医薬品提供拠点としての薬局の機能強化、薬剤師サービスの更なる充実を目指した6年に一度の医療・介護の同時改定」であると。また、「個々の改定項目、点数、要件に着目するのではなく、今回の改定で目指したものは何か、薬剤師・薬局に何を求められているのか、しっかりと理解して業務への取り組みをお願いしたい。」と締めくくられました。皆さん、もう始まっています。

もう一つ、4月1日に市薬役員改選に伴う「第一回選考委員会」を開催いたします。どうぞ皆さん明日の佐世保市薬剤師会のために、役員として立候補を宜しくお願い致します。告示は追ってご連絡いたします。

### ～院外処方箋コーナー運営委員会便り～

令和7年1月より佐世保市総合医療センターが電子処方箋の発行を開始することとなり、令和6年6月より試験運用を開始することとなりました。それに伴って、先月5日には、電子処方箋に関するPAPも開催されました、医療DXの流れもいよいよ進んでいくことになるのだらうと思います。

院外処方箋コーナーでは、患者様がスムーズにお薬の調剤が受けられるように、処方箋をかかりつけ薬局へFAXしているわけですが、紙で印刷された公文書そのままの形式で送付できるところに、FAXを利用している意義があります。FAXを受理したら速やかに調剤を実施して、患者様の来局を待つことができるわけです。一方で、電子処方箋では、引換番号が発行され、その番号をもとにして処方内容がレセコンに取り込まれる流れとなり、調剤をするためには、そこから処方内容を印刷しなければなりません。何より、引換番号が分からない限りは、情報が入手できないわけですから、患者様の来局前に調剤を実施することはできません。では、紙の処方箋から電子処方箋に移行した場合に、院外処方箋コーナーの運用の在り方はどうなるのでしょうか。引換番号が紙で発行されるので、それをFAXすることも運用のひとつとして考えられます。しかし、FAXの意義は前述したように、公文書を送付できることに意義があるわけであり、引換番号の伝達であればFAX以外の方法でも問題ないようなも思います。↑

電子処方箋の運用が開始されても、全てが電子処方箋に移行するわけではなく、紙の処方箋の運用も残ります。院外処方箋コーナーもこれまで通りに運用を継続していきます。今回の便りでは、電子処方箋の運用に関するマイナスなイメージを述べましたが、導入するメリットも多くありますし、私たちは時代の流れに順応して対応していかなければなりません。そういう意味で、院外処方箋コーナーの運用の在り方について、検討していかなければならない節目を迎えたと感じており、委員会としては、この課題にしっかりと向き合っていきたいと思っております。



### ～佐世保市感染症予防計画のお知らせ～

佐世保市ホームページに佐世保市感染症予防計画が掲載されましたのでご覧ください  
【お知らせ→[新たな感染症への対応（感染症予防計画）](#)をクリック】

### ～令和6年度佐世保市環境部収集年間計画表の確認のお願い～

収集年間計画表を市薬のホームページに掲載しましたので、申込をされた薬局の方はご確認ください。

※収集月の変更が生じた薬局は、前月までに市薬事務所まで(FAX: 24-3873)

ご連絡ください。(収集日は毎月第3金曜日)

※市外の薬局が患者から回収したものは、出さないようにお願いします。

### 佐世保市薬剤師会 会務報告【3月】

5日	佐世保市総合医療センターPAP (薬薬連携勉強会)	ハイブリッド研修会
13日	三役会	市薬会議室
14日	生涯教育	ハイブリッド研修会
17日	明社協まちなか清掃活動(井手)	京町公園
19日	佐世保市総合医療センター令和5年度がん 薬物療法連携勉強会	総合医療センター6階
21日	常務会	市薬会議室
26日	長崎労災病院令和5年度がん薬薬連携勉強会	ハイブリッド研修会
27日	佐世保市在宅医療・介護連携協議会(中村)	佐世保市保健所
27日	臨時理事会	薬国保会議室